

R4 学校自己評価アンケートの集計結果(北校地)

1 校地間、学科間、学校と地域や家庭の連携・協働をふまえた効率的な教育活動の推進

1. 校地統合を踏まえて生徒が成長できる各種教育活動の改革を進めている。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			62.8%		
2. 保護者			62.1%		
3. 教職員			65.2%		

2. 各学科の強みを活かして、学科間の連携を深めている。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			75%		
2. 保護者			67.3%		
3. 教職員			47.8%		

2 知識・技能の確実な習得と、思考力・判断力・表現力等を育む効果的な教科指導の工夫

3. 専門知識と技能を効果的に習得させ、確実な資格取得と検定合格を目指している。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			91.7%		
2. 保護者			90.5%		
3. 教職員			95.6%		

4. 進路を実現し、社会の変化に対応できる実力を身につけさせている。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			84%		
2. 保護者			87%		
3. 教職員			95.7%		

3 主体的に社会に貢献しようとする使命感と実力を兼ね備えた生徒の育成

5. 社会に貢献できる人材を育成するために現状に即した教育活動を展開している。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			78.9%		
2. 保護者			72.4%		
3. 教職員			91.3%		

6. 地域と積極的に連携し、地域に貢献しようとする使命感と実力を高めている。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			74.4%		
2. 保護者			71.5%		
3. 教職員			91.3%		

4 本校教育活動とその魅力を内外に伝える広報の展開

7. 各学科の教育活動やその成果、部活動の実績などの情報を、積極的に発信している。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			80.1%		
2. 保護者			73.3%		
3. 教職員			87%		

8. 本校の現状や今後の方針に関する広報活動を充実させている。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			69.9%		
2. 保護者			59.5%		
3. 教職員			69.5%		

5 その他の項目

9. 新見高校各校地の「いじめ問題対策基本方針」に基づき適切な対応をしている。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒			68.6%		
2. 保護者			48.2%		
3. 教職員			78.2%		